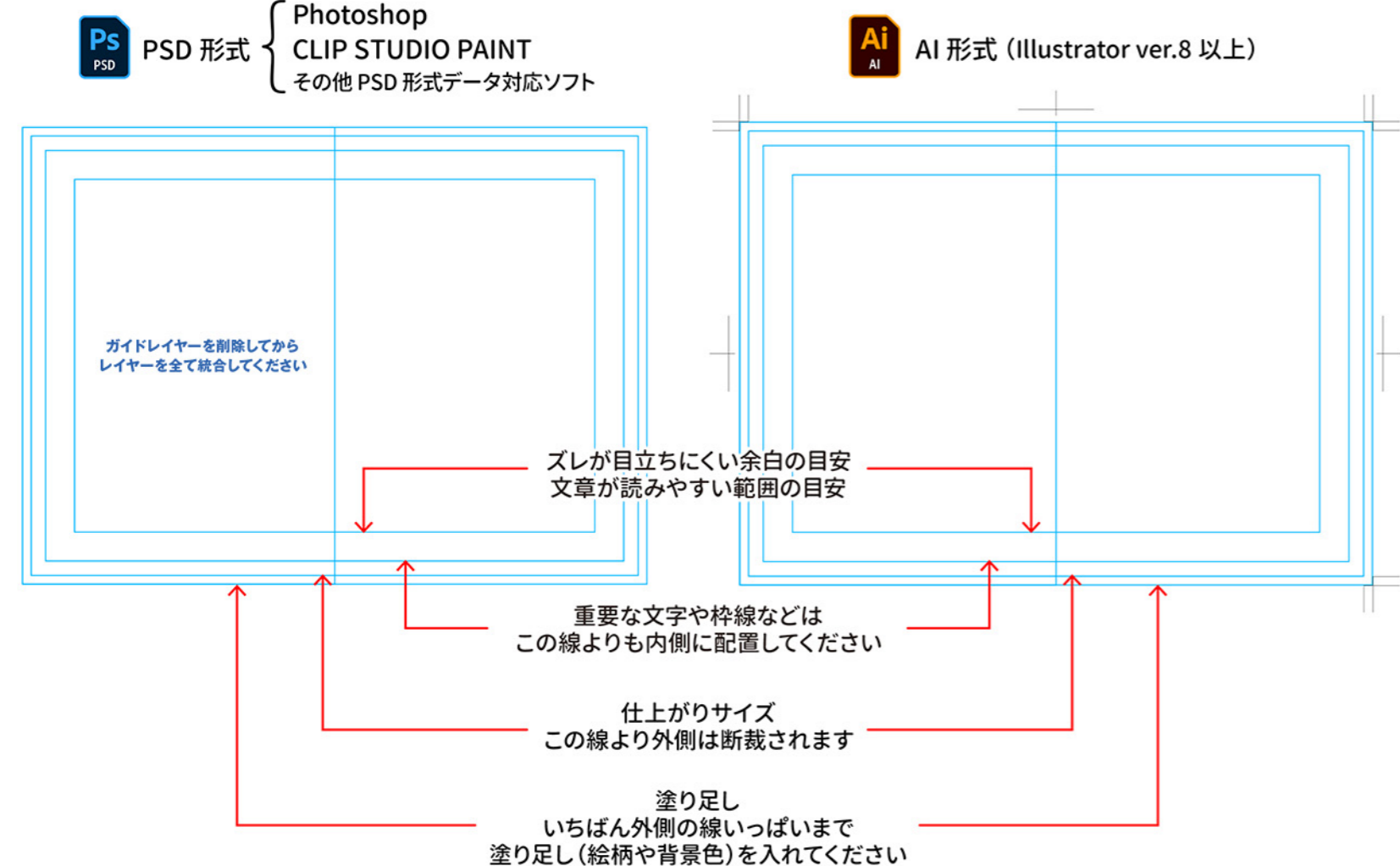
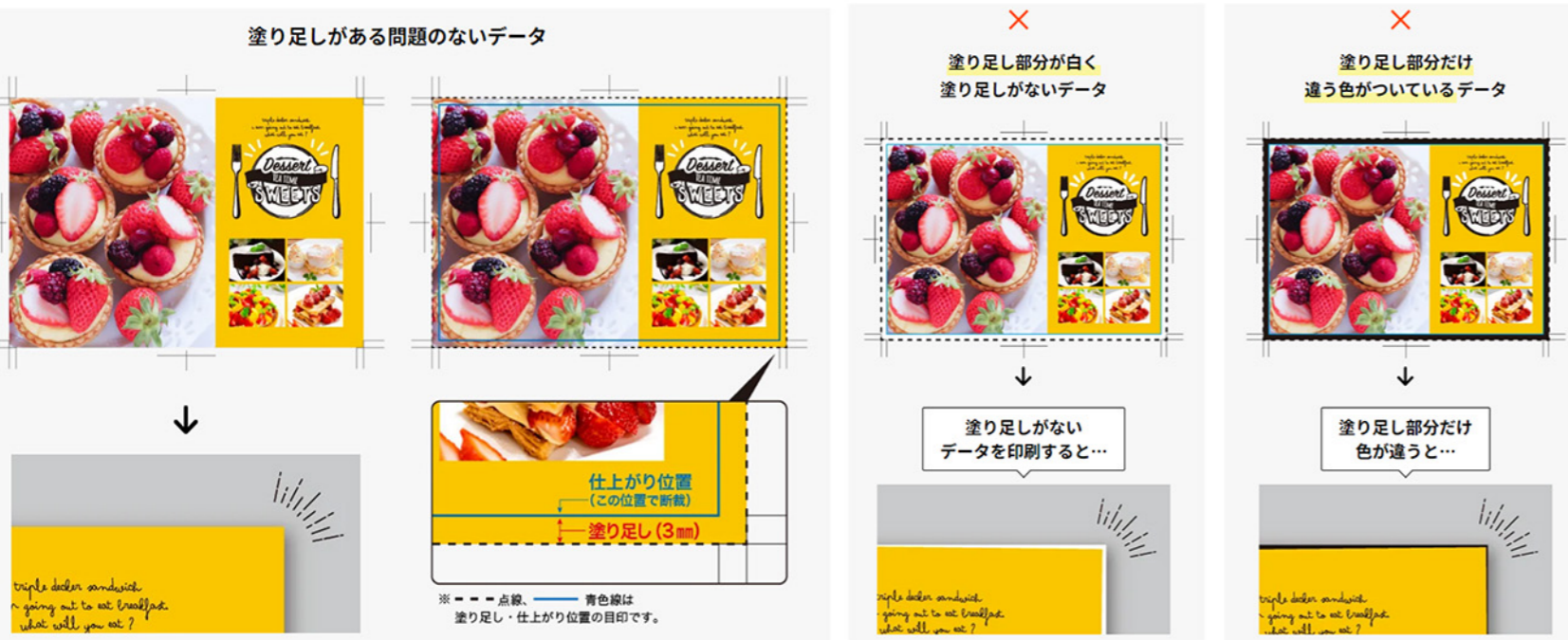


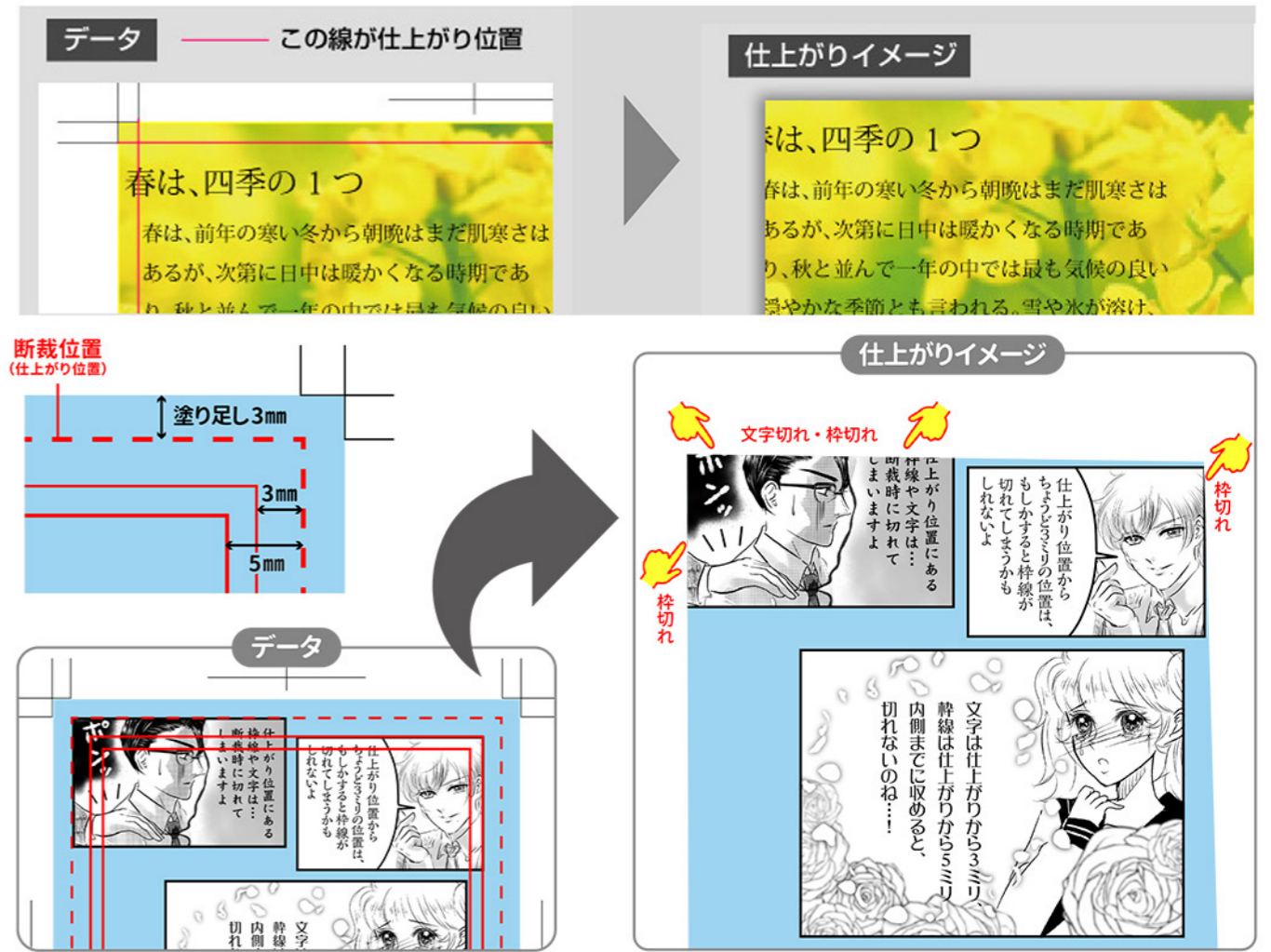
1 ガイド線について



2 塗り足しについて

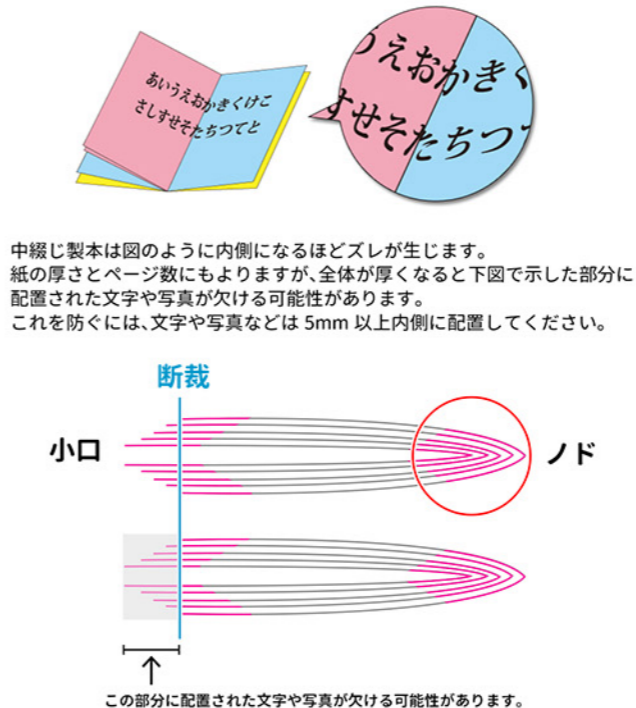


3 文字切れ・枠切れについて



4 中綴じ冊子の注意点

中綴じ冊子はノド部分まで開ききることが可能なので、ノドアキ(ノドの余白)は不要です。しかし、製本の際にどうしても若干のズレが生じますので、センター部分を細かな文字等がまたがるレイアウトの場合は、多少のズレが生じることも予めご了承ください。



塗り足し部分の断裁の際にはズレが生じますので、切れてはいけない文字や画像、コマ割り線や飾り枠などの枠線は、仕上がり位置から 3mm から 5mm 以上内側に収まるように配置してください。

5 無線綴じ冊子の注意点

無線綴じはページを完全に開ききることが出来ないため、ノド付近文字は食い込んで見えなくなる・読みづらくなります。
見えないと困る文字や図はノドから 15mm 程余裕をもってレイアウトしたほうがバランスがよく、読みやすくなりますのでオススメです。

